

高石工業株式会社

# 2018 年度 環境活動レポート

(2018年4月～2019年3月)



作成日： 2012年3月7日  
更新日： 2019年4月4日

## □ごあいさつ

弊社は2018年4月に創業70周年を迎えました。これからも持続的成長を目指す弊社にとって、環境的側面を考慮することは必須であると考えます。経営理念の「三方よし」の「世間よし」の考え方に基づき、「人にやさしく、地球にやさしい」企業であるための取り組みを行います。

高石工業株式会社  
代表取締役 高石 秀之

## <環境理念>

当社はかけがえのない地球環境を次の世代に伝えていくことを重要課題の一つとして認識し、工業用精密ゴム部品製造・研究開発事業活動において「地球にやさしく、人にやさしく」を企業活動の基本として行動します。つきましては、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応により環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

## <基本方針>

当社は、工業用精密ゴム製品の開発・設計・製造・販売を通じて、社会に貢献している。当社の事業活動及び製品が及ぼす環境への影響を常に認識し、汚染の予防と環境負荷の低減に努めます。

## <環境保全への行動指針>

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

- ①二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）
  - ・電力（工場、事務所）
  - ・自動車燃料（営業車）
- ②廃棄物の削減及び再資源化の推進（循環型社会への対応）
  - ・一般廃棄物
  - ・産業廃棄物（廃プラ）
- ③排水量の削減（水資源の保全）
  - ・一般水道水
  - ・地下水
- ④化学物質購入量の削減
  - ・環境負荷の少ない原材料による製品の研究・開発
- ⑤グリーン購入、グリーン調達への取り組み
  - ・環境対応製品の調達比率UP
- ⑥製品への環境配慮
  - ・製品の環境負荷の調査
- ⑦地域環境への取り組み

2. 当社に適用される環境に関する法規則及び同意するその他の要求事項を遵守します。

3. 全従業員にこの環境方針を周知徹底し、全員参加で実施、維持します。

4. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2008年11月11日

改定日：2018年4月1日

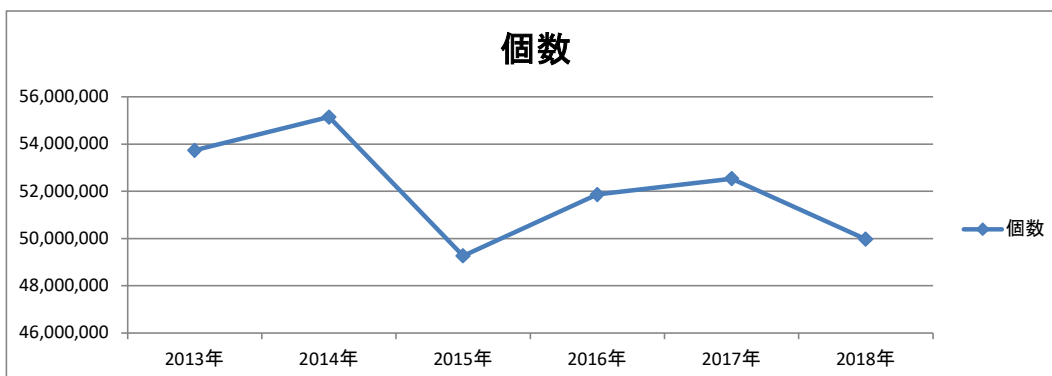
代表取締役 高石 秀之

## □登録事業所の概要

- (1) 事業所名及び代表者名  
高石工業株式会社  
代表取締役社長 高石 秀之
- (2) 所在地  
本社:大阪府茨木市主原町3-18  
関連事業所 あり 2箇所  
  
鳥取工場:鳥取県鳥取市湖山町東4丁目43番地  
山崎工場:兵庫県宍粟市山崎町段815番地
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 総務部長 高石 純二 TEL: 072-632-3365  
担当者 高石 純二
- (4) 事業内容(認証・登録の範囲)  
工業用精密ゴム製品製造
- (5) 事業の規模

主要製品生産数量(個)

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
個数	53,730,238	55,138,986	49,267,428	51,860,772	52,534,428	49,962,356



	本社	鳥取工場	山崎工場	ベトナム工場
従業員	43	32	12	9
延べ床面積	1739㎡	1314㎡	553㎡	555㎡

- (6) 事業年度 4月～3月

## □認証・登録の対象組織・活動

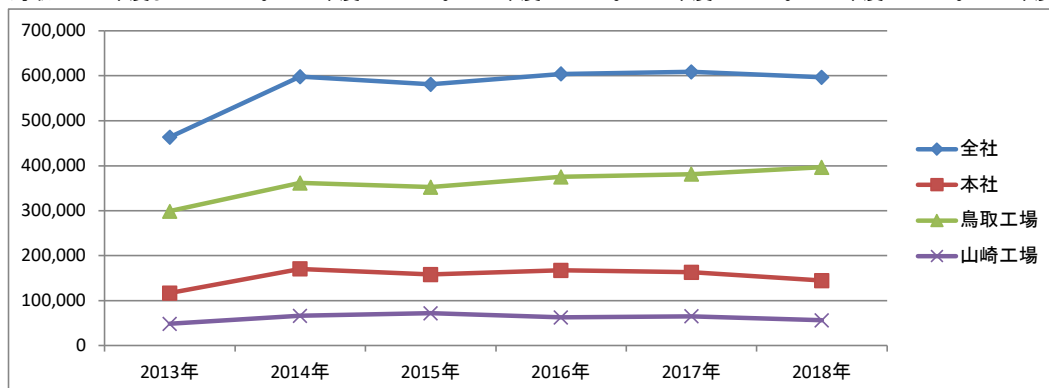
- 登録組織名: 高石工業株式会社  
本社・大阪工場  
鳥取工場  
山崎工場
- 活動: 工業用精密ゴム製品製造

## □主な環境負荷の実績(CO2 kg)

項目	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
全社	463,643	597,902	581,508	604,283	609,149	596,876
本社	116,872	170,151	157,618	167,207	163,021	144,555
鳥取	298,818	361,667	352,336	374,926	381,291	396,495
山崎	47,952	66,084	71,554	62,149	64,837	55,825

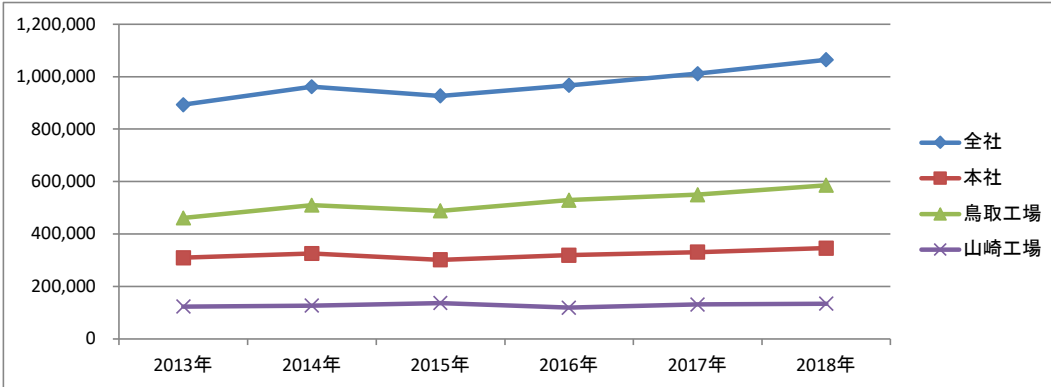
電力の二酸化炭素排出係

本社・山崎工場: 2013年度までは0.355。2014年度は0.523。2015年度は0.472。2016年度は0.496。2017年度は0.493。2018年度は0.493。  
鳥取: 2013年度までは0.628。2014年度は0.709。2015年度は0.472。2016年度は0.700。2017年度は0.694。2018年度は0.67



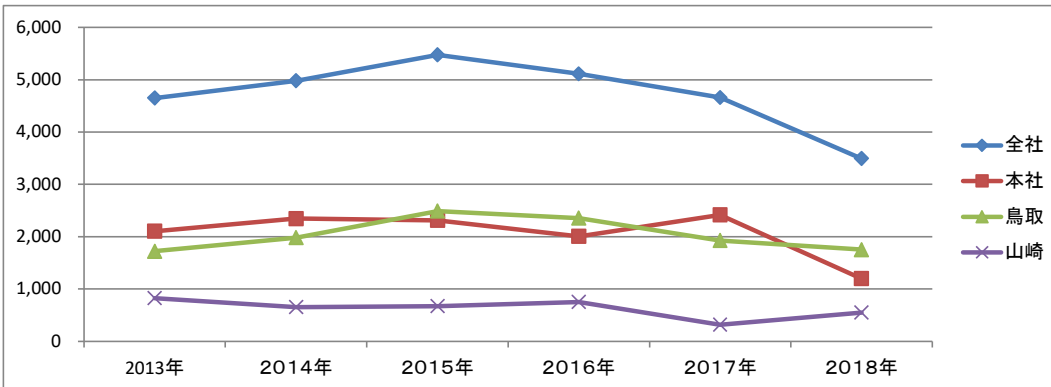
□主な環境負荷の実績(電力 kWh)

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
全社	893,585	961,801	926,839	967,350	1,011,597	1,065,044
本社	309,016	325,337	301,372	319,708	330,671	345,826
鳥取	460,974	510,108	488,652	528,810	549,411	585,665
山崎	123,595	126,356	136,815	118,832	131,516	133,553



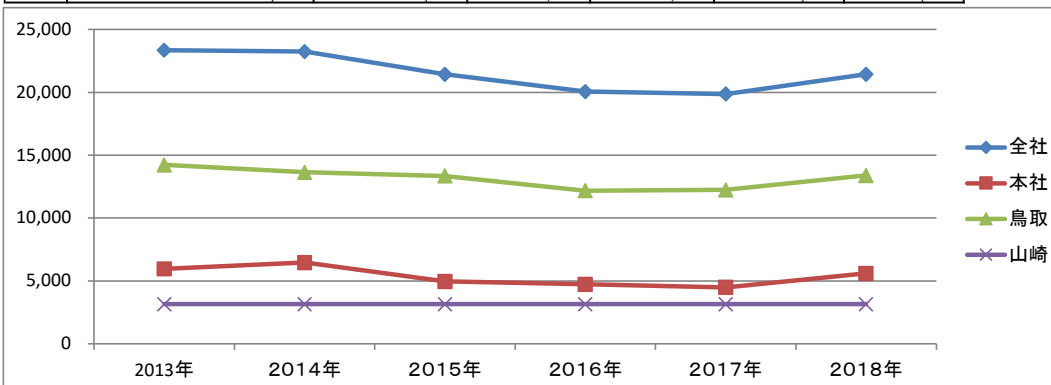
□主な環境負荷の実績(ガソリン ㍉)

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
全社	4,652	4,980	5,477	5,111	4,659	3,495
本社	2,107	2,347	2,313	2,007	2,418	1,200
鳥取	1,722	1,981	2,489	2,352	1,924	1,750
山崎	823	652	675	752	317	545



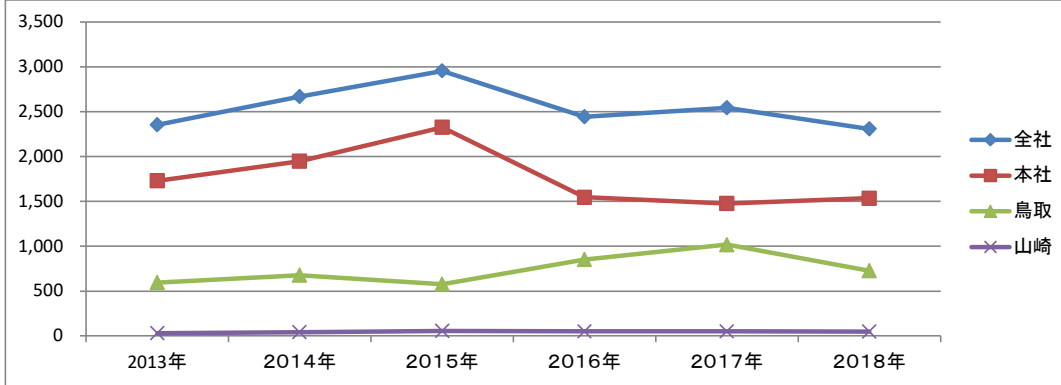
□主な環境負荷の実績(産業廃棄物排出量 kg)

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
全社	23,350	23,250	21,440	20,060	19,870	21,440
本社	5,960	6,450	4,950	4,740	4,480	5,600
鳥取	14,240	13,650	13,340	12,170	12,240	13,390
山崎	3,150	3,150	3,150	3,150	3,150	3,150



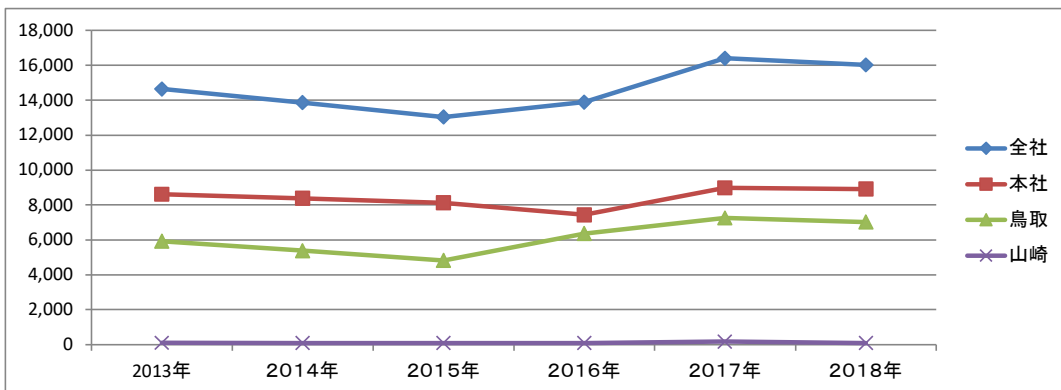
□主な環境負荷の実績(一般廃棄物排出量 kg)

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
全社	2,355	2,667	2,955	2,443	2,545	2,309
本社	1,730	1,948	2,324	1,544	1,476	1,534
鳥取	594	676	576	850	1,018	727
山崎	31	43	55	49	51	48



□主な環境負荷の実績(総排水量 m³)

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
全社	14,647	13,862	13,043	13,891	16,407	16,031
本社	8,619	8,386	8,129	7,434	8,983	8,912
鳥取	5,925	5,379	4,822	6,365	7,252	7,028
山崎	103	97	92	92	172	92



□環境目標及びその実績(全社)

項目		2017年		2018年		2019年	2020年
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比	
基準年度との生産量比		52,534,428	-	49,962,356	-	-	
電力の削減	kWh	1,011,598	961,018 95%	1,065,044 105%	961,018 95%	961,018 95%	
ガソリンの削減	L	4,660	4,427 95%	3,495 75%	4,427 95%	4,427 95%	
産業廃棄物(廃油等)の削減	(Kg/年)	22,485	21,361 95%	21,440 95%	21,361 95%	21,361 95%	
一般廃棄物の削減	(Kg/年)	2,545	2,418 95%	2,309 91%	2,418 95%	2,418 95%	
節水	(m <sup>3</sup> /年)	2,581	2,452 95%	2,617 101%	2,452 95%	2,452 95%	
購入資材への環境配慮	事務用品購入金額(円)	628,400	-	766,200	-	-	
	グリーン購入額(円)	295,222	-	272,487	-	-	
	グリーン購入率	47%	50%	36%	50%	50%	
製品への環境配慮	ROHS指令物質の 検査回数(顧客 要請による)	10	15	19	15	15	
			150%	190%	150%	150%	
化学物質購入量の削減 (トルエン・MEK)	kg	226	215 95%	240 106%	215 95%	215 95%	
化学物質購入量の削減 (PRTR物質使用量)	kg	643	611 95%	671 104%	611 95%	611 95%	

※製品への環境配慮については基準年度は2011年。

※化学物質購入量の削減については基準年度は2010年。

□環境目標及びその実績(本社)

項目		2017年		2018年		2019年	2020年
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比	
基準年度との生産量比		11,557,683	-	11,086,715	-	-	
電力の削減	kWh	330,671	314,137 95%	345,826 105%	314,137 95%	314,137 95%	
ガソリンの削減	L	2,418	2,297 95%	1,200 50%	2,297 95%	2,297 95%	
産業廃棄物(廃油等)の削減	(Kg/年)	7,095	6,740 95%	5,600 79%	6,740 95%	6,740 95%	
一般廃棄物の削減	(Kg/年)	1,476	1,402 95%	1,534 104%	1,402 95%	1,402 95%	
節水	(m <sup>3</sup> /年)	887	843 95%	761 86%	843 95%	843 95%	
購入資材への環境配慮	事務用品購入金額(円)	299,370	-	557,688	-	-	
	グリーン購入額	95,952	-	162,851	-	-	
	グリーン購入率	32%	50%	29%	50%	50%	

□環境目標及びその実績(鳥取)

項目		2017年		2018年		2019年	2020年
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比	
基準年度との生産量比		34,448,656	-	33,084,400	-	-	
電力の削減	kWh	549,411	521,940 95%	585,665 107%	521,940 95%	521,940 95%	
ガソリンの削減	L	1,925	1,829 95%	1,750 91%	1,829 95%	1,829 95%	
産業廃棄物(廃油等)の削減	(Kg/年)	12,240	11,628 95%	13,390 109%	11,628 95%	11,628 95%	
一般廃棄物の削減	(Kg/年)	1,018	967 95%	727 71%	967 95%	967 95%	
節水	(m <sup>3</sup> /年)	1,545	1,468 95%	1,792 116%	1,468 95%	1,468 95%	
購入資材への環境配慮	事務用品購入金額(円)	109,298	-	125,836	-	-	
	グリーン購入額(円)	60,063	-	61,615	-	-	
	グリーン購入率	55%	50%	49%	50%	50%	

□環境目標及びその実績(山崎)

項目		2017年		2018年		2019年	2020年
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比	
基準年度との生産量比		6,234,900	-	5,474,530	-	-	
電力の削減	kWh	131,516	124,940 95%	133,553 102%	124,940 95%	124,940 95%	
ガソリンの削減	L	736	699 95%	545 74%	699 95%	699 95%	
産業廃棄物(廃油等)の削減	(Kg/年)	3,150	2,993 95%	3,150 100%	2,993 95%	2,993 95%	
一般廃棄物の削減	(Kg/年)	51	48 95%	48 94%	48 95%	48 95%	
節水	(m <sup>3</sup> /年)	149	142 95%	64 43%	142 95%	142 95%	
購入資材への環境配慮	事務用品購入金額(円)	219,732	-	82,676	-	-	
	グリーン購入額(円)	139,207	-	48,021	-	-	
	グリーン購入率	63%	50%	58%	50%	50%	

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組み内容(全社)

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し <input checked="" type="checkbox"/> 変更無し		
<b>電力の削減</b> 数値目標 ・冷暖房の控えめな使用 (冷房28℃ 暖房20℃) ・クールビズ・ウォームビズ運動 不要照明の消灯 工程ロス削減	× ○ ○ ○ ○	使用量も原単位評価を加味しても排出量も増加したが、基準年の変更により基準年の二酸化炭素排出係数も変更。電力会社の二酸化炭素排出係数もアップしているため、二酸化炭素排出量は悪化している。次年度も目標は据え置く。
<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し <input checked="" type="checkbox"/> 変更無し		
<b>自動車燃料使用量の削減</b> 数値目標 エコドライブ運動展開 ・アイドリングストップ ・急加速の抑制 ・冷房の控えめ使用 ・買換え時は燃費マークを優先する	○ ○ ○ ○ ○ ○	本社鳥取間の移動にミライを使用するなど、ガソリン使用量は目標を達成することができた。次年度以降も目標をクリアすることが見込まれる。



<b>産業廃棄物（廃プラ）の削減</b> 数値目標 ・適正量でゴミを混練する ・混練の失敗を減らす	× ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し <input checked="" type="checkbox"/> 変更無し 産業廃棄物は基準年はクリアできたものの目標値を下回ることはできなかった。また、原単位評価としては物足りない結果となった。次年度も目標は据え置く。
<b>一般廃棄物の削減</b> 数値目標 ・ダンボール等の廃品回収 ・シュレッダーごみの再利用 ・裏紙の再使用	○ ○ ○ ×	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し <input checked="" type="checkbox"/> 変更無し 一般廃棄物も基準年はクリアしたが目標は達成できなかった。生産量と一般廃棄物はリンクしないので参考程度。次年度も目標は据え置く。
<b>水道水の削減</b> 数値目標 ・水道水の削減の呼びかけ	× ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し <input checked="" type="checkbox"/> 変更無し 水道水は基準年をよりも増加してしまった。鳥取工場の増加が大きく影響してしまった。次年度も目標は据え置く。
購入資材への環境配慮 数値目標 有害性の少ない資材の購入 省エネ性能の高い電気製品の購 燃費の良い自動車の採用	○ ○ ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し <input type="checkbox"/> 変更無し 購入資材への環境配慮(グリーン購入)の本社分が達成できなかったのが全体に影響した。次年度は当欄を無くす。
製品への環境配慮 数値目標 RoHS指令物質の不使用の確認 RoHS指令物質の検査回数確認	○ ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し <input checked="" type="checkbox"/> 変更無し 環境負荷物質の使用制限に沿った材料を提供できています。次年度も目標は据え置く。
化学物質の削減 数値目標 PRTR物質使用量の削減	× ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し <input checked="" type="checkbox"/> 変更無し わずかに基準年を上回ってしまった。次年度も目標は据え置く。

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取り組み内容(本社)

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
<b>電力の削減</b> 数値目標 ・冷暖房の控えめな使用 (冷房28℃ 暖房20℃) ・クールビズ・ウォームビズ運動 不要照明の消灯 工程ロス削減	× ○ ○ ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し <input checked="" type="checkbox"/> 変更無し 年間を通してエアコンの使用・残業による稼働率の増加により、目標を達成できていない。次年度も目標は据え置く。
<b>自動車燃料使用量の削減</b> 数値目標 エコドライブ運動展開 ・アイドリングストップ ・急加速の抑制 ・冷房の控えめ使用 ・買換え時は燃費マークを優先する	○ ○ ○ ○ ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し <input checked="" type="checkbox"/> 変更無し 営業の外出が少なくなったため、年間を通すと目標を大幅に下回ることができた。次年度も目標は据え置く。
<b>産業廃棄物（廃プラ）の削減</b> 数値目標 ・適正量でゴミを混練する ・混練の失敗を減らす	○ ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し <input checked="" type="checkbox"/> 変更無し 年間を通して目標値をクリアできた。次年度も目標は据え置く。
<b>一般廃棄物の削減</b> 数値目標 ・ダンボール等の廃品回収 ・シュレッダーごみの再利用 ・裏紙の再使用	× ○ ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し <input checked="" type="checkbox"/> 変更無し 年間を通して基準年よりも増加してしまった。次年度も目標は据え置く。
<b>水道水の削減</b> 数値目標 ・水道水の削減の呼びかけ	○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し <input checked="" type="checkbox"/> 変更無し 年間を通して、累計目標が達成できている。次年度も目標は据え置く。
購入資材への環境配慮 数値目標 有害性の少ない資材の購入 省エネ性能の高い電気製品の購 燃費の良い自動車の採用	× ○ ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し <input type="checkbox"/> 変更無し 年間を通して、目標を達成できていない。月単位で見ると、グリーン購入が多かった7月と1月のみ目標を達成している。次年度は廃止。

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取り組み内容(鳥取)

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
<b>電力の削減</b> 数値目標 ・冷暖房の控えめな使用 (冷房28℃ 暖房20℃) ・クールビズ・ウォームビズ運動 不要照明の消灯 工程ロス削減	× ○ ○ ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し ■変更無し 年間を通して機械の稼働率が高く達成は出来なかった 次年度も目標は据え置く。
<b>自動車燃料使用量の削減</b> 数値目標 エコドライブ運動展開 ・アイドリングストップ ・急加速の抑制 ・冷房の控えめ使用 ・買換え時は燃費マークを優先する	○ ○ ○ ○ ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し ■変更無し 達成できた。大阪、山崎への移動が減った事が原因として大きい 次年度も目標は据え置く。
<b>産業廃棄物(廃プラ)の削減</b> 数値目標 ・適正量でゴミを混練する ・混練の失敗を減らす	× ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し ■変更無し 保管品の廃棄、生産量が多く、それに伴いバリも多く発生し、達成は出来なかった 次年度も目標は据え置く。
<b>一般廃棄物の削減</b> 数値目標 ・ダンボール等の廃品回収 ・シュレッダーごみの再利用 ・裏紙の再使用	○ ○ ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し ■変更無し ゴミの分別を徹底したら削減できた 次年度も目標は据え置く。
<b>水道水の削減</b> 数値目標 ・水道水の削減の呼びかけ	× ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し ■変更無し 達成できなかった 次年度も目標は据え置く。
購入資材への環境配慮 数値目標 有害性の少ない資材の購入 省エネ性能の高い電気製品の購 燃費の良い自動車の採用	× ○ ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し ■変更無し 達成できた 次年度は廃止。

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取り組み内容(山崎)

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
<b>電力の削減</b> 数値目標 ・冷暖房の控えめな使用 (冷房28℃ 暖房20℃) ・クールビズ・ウォームビズ運動 不要照明の消灯 工程ロス削減	× ○ ○ ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し ■変更無し 1年を通じて成形機の稼働率が良かったのと、夏の猛暑でエアコンの使用量が増えたのとで、電気の使用量が増え達成できませんでした。 次年度も目標は据え置く。
<b>自動車燃料使用量の削減</b> 数値目標 エコドライブ運動展開 ・アイドリングストップ ・急加速の抑制 ・冷房の控えめ使用 ・買換え時は燃費マークを優先する	× ○ ○ ○ ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し ■変更無し 省エネ走行を心がけ、車の使用を抑えまた使用をまとめることにより達成できたのではと思います。 次年度も目標は据え置く。
<b>産業廃棄物(廃プラ)の削減</b> 数値目標 ・適正量でゴミを混練する ・混練の失敗を減らす	× ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し ■変更無し 年間を通して達成することが出来ました。 次年度も目標は据え置く。
<b>一般廃棄物の削減</b> 数値目標 ・ダンボール等の廃品回収 ・シュレッダーごみの再利用 ・裏紙の再使用	○ ○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し ■変更無し 今年度も達成できませんでしたが、来年度からは目標を見直しが必要です。 次年度も目標は据え置く。
<b>水道水の削減</b> 数値目標 ・水道水の削減の呼びかけ	○ ○	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し ■変更無し 年間を通して達成することが出来ました。 次年度も目標は据え置く。

購入資材への環境配慮 数値目標	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/> 上方修正 <input type="checkbox"/> 下方修正 <input type="checkbox"/> 基準見直し <input checked="" type="checkbox"/> 変更無し
有害性の少ない資材の購入	<input type="radio"/>	年間を通して達成することが出来ました。 次年度は廃止。
省エネ性能の高い電気製品の購	<input type="radio"/>	
燃費の良い自動車の採用	<input type="radio"/>	

#### □環境関連法規制等の順守状況(全社)

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属ガス、廃プラ、廃ガラス、廃油等）
騒音・振動規制法	空圧機、ロール機
毒物及び劇物取締法	メタノール、トルエン、MEK
消防法（危険物）	シンナー
高圧ガス保安法	液体窒素
大気汚染防止法	ロール機
フロン排出・抑制法	業務用空調機
ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法	高圧コンデンサ、放電コイル、PCBを含む油
PRTR法	N-シクロヘキシル-2-ヘキサゾチアゾールスルフェンアミド、テトラメチルチウラムジスルไฟド、トルエン、フタル酸ヒキス
下水道法	排水基準の順守

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

### □環境関連法規制等の順守状況(本社)

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属屑、廃プラ、廃ガラス、廃油等)
騒音・振動規制法	空圧機、ロール機
毒物及び劇物取締法	メタノール、トルエン、MEK
消防法(危険物)	シンナー
高圧ガス保安法	液体窒素
大気汚染防止法	ロール機
フロン排出・抑制法	業務用空調機
ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法	高圧コンデンサ、放電コイル、PCBを含む油

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。  
大気汚染防止法の立ち入り検査があり書類の不備が指摘されましたが、すでに手続きは完了しました。  
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

### □環境関連法規制等の順守状況(鳥取)

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属屑、廃プラ、廃ガラス、廃油等)
毒物及び劇物取締法	メタノール、トルエン、MEK
消防法(危険物)	シンナー
高圧ガス保安法	液体窒素
フロン排出・抑制法	業務用空調機
ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法	高圧コンデンサ、放電コイル、PCBを含む油

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。  
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

### □環境関連法規制等の順守状況(山崎)

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属屑、廃プラ、廃ガラス、廃油等)
毒物及び劇物取締法	メタノール、トルエン、MEK
消防法(危険物)	シンナー
フロン排出・抑制法	業務用空調機

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。  
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

### □代表者による全体の評価と見直し

・電力について。使用電力量は生産数量が増え、機械稼働が忙しくまた空調や電力消費の高い機械の使用頻度が増えた分増えている。また、電力会社の二酸化炭素排出係数もアップしているため、二酸化炭素排出量は悪化している。原単位(生産個数あたり)で考えると2018年度は0.0213kwh(=1,065,044kwh/49,962,356個)となり、基準年度の0.0192kwh(=1,011,597kwh/49,962,356個))と比較して増えている。2019年度は引き続き効率的な機械運用で原単位当たりの消費電力ダウンを目指す。

・自動車燃料について。営業の車での外出や工場間の往来が減ったため、また燃料電池車「ミライ」を活用して、目標を達成できた。次年度のさらなる改善に期待したい。

・産業廃棄物は基準年はクリアできたものの目標値を達成することはわずかにできなかった。また、原単位評価(生産個数当たり)としては全社で基準年である2017年度(22,485kg/52,520,752個=0.000428)に比べて、2018年度は(21,440kg/49,962,356個=0.000429)とほぼ横ばいとなった。これまで年度ごとに活動の成果が見られていたので、やや物足りない結果となった。引き続き削減に努めたい。

・一般廃棄物については、基準年はクリアしたが目標は達成できなかった。次年度も引き続き削減に取り組みたい。

・節水について。基準年よりもトータルの使用量が増えた。生産量の増加に伴い、水の使用量が増えているので、原単位評価を導入する。基準年2017年度(2,581㎡/52,520,752個=0.0000491)、2018年度(2,617㎡/49,962,356個=0.0000524)と基準年を上回っている。鳥取工場での水道水使用の増加が主な要因だが、増加の主な原因は冷風扇であり、夏場の電力抑制に役立っている面もある。節減に努めたい。

・購入資材の環境配慮について。今年度は36%に終わった。グリーン購入を心掛けてはいるが、購入しなければならない物品の全てに、グリーン購入品がある訳ではないので、常に50%以上の比率を目指すことは難しいと思われる。項目設定自体が適切かどうか検討を要する。

・化学物質の削減について。トルエン・MEKともに目標値に届かず、基準年をわずかに超えた。またPRTR物質の使用も

目標を達成できていない。無駄な使用のないようには努めたいが、購入量の削減はコントロールし難い面もある。また、ゴム材料のRoHS2指令には対応すべく活動中。

## □その他の取り組みを紹介

2019年1月31日に「JICE(マレーシアからの日本の見学団)」の訪問を受け、会社の説明と、工場見学、製造体験をしてもらいました。



ふるさと納税の返礼品として製造体験を出品。製造体験や工場見学をしてもらいました。

